

名古屋大学大学院環境学研究科と飛騨市との連携・協力に関する 協定の締結について

1. 背景・課題

急激な社会情勢の変化や経年による利用客層の変化に伴い、市内のバス路線を中心に地域公共交通に求められるニーズも多様化しています。地域公共交通を維持していくためには、運行事業者と行政の取組だけでは限界があり、地域（市民）の理解と協力、参画が不可欠です。

このような状況を踏まえ、市民にとってより利用しやすくわかりやすい持続可能な地域公共交通を目指し、将来を見据えた有効な施策を研究する必要があるため、全国の地域公共交通事業に精通している名古屋大学大学院環境学研究科と下記のとおり共同研究に係る連携協定を締結しました。

2. 締結日・場所

令和4年1月17日（月）午前11時から
飛騨市役所 西庁舎 3階 大会議室

3. 協定締結相手先

国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学大学院 環境学研究科（山岡研究科長）

4. 協定の主な内容

- ① 飛騨市の地域公共交通の活性化・再生に関する施策の立案及び推進に関すること。
- ② 飛騨市の地域における持続可能な地域づくり等に関する行政施策の立案及び推進に関すること。
- ③ 相互の人材育成に関すること。
- ④ 前各号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するために必要な分野における協力に関すること。

5. 令和4年度の公共交通政策について

連携協定に基づき、コンサルティング委託契約を締結し、同大学院より専門的知見を有する研究員の派遣を受け、地域参画型の公共交通の実現に向けた共同研究を行います。同研究の中では、地域の潜在ニーズに対応した路線見直しやITの活用を含め分かりやすい案内表示などの利便性向上に関する取組を実施します。

また、市担当職員の名古屋大学への短期派遣による人材育成も合わせて実施します。